

## ■ 補足資料 別冊テキストについて

別冊テキストは、各登録講習機関が作成する教材を補足するものとして、建築基準関係規定を中心に建築士が実務を行ううえで必要となる最新の情報について、国土交通省が取りまとめたものです。別冊テキストの内容は、後日別途、皆さまの方でご確認をお願いします。本資料は、ERIアカデミーのテキストと、別冊テキストとの関連について一覧としたものです。ERIアカデミーのテキストと併せて別冊テキストを活用する際にご利用ください。

ERIアカデミー テキスト		別冊 テキスト	頁	
科目 I	第 1 章	第 1 節 建築基準法の最近の動向	⑧違反是正命令等 ⑨増改築等・用途変更に係る建築確認 1-2 建築基準法の一部を改正する法律等について ⑥非常用の照明装置の設置基準の合理化 ⑩積雪後に雨が降ることを考慮した積雪荷重の強化について ⑮階段基準の合理化	9、10 10 13～46 130 133 141
		第 2 節 建築確認に関する手続き	①建築確認	4
		第 3 節 完了・中間検査に関する手続き	③中間検査／④完了検査 ⑥仮使用認定	5、6 7
		第 5 節 建築物の構造計算と技術的基準	②構造計算適合性判定	4、5
		第 6 節 構造計算適合性判定に関する手続き	構造計算及び必要な手続き等(構造計算適合性判定)	274～282
		第 7 節 省エネ適合性判定を要する場合の手続き	①省エネ基準への適合義務対象となる建築物の対象の拡大	59
		第 8 節 建築物等の安全性の確保と適正な維持管理	⑦定期報告	8、9
		第 9 節 既存不適格建築物への増築等の対応(構造耐力関連)	既存不適格・維持保全等	283
		第 10 節 容積率制限・建蔽率制限の合理化等	⑩容積率規制の合理化 ⑫防火地域等内の建築物に関する規制の合理化	42～44 44、45
		第 11 節 エレベーター(昇降機)への安全装置等の設置	⑦機械室なし非常用エレベーターの規制の合理化 ⑧段差解消機の事故を踏まえた安全対策	130 131
		第 12 節 仮設建築物に対する制限の緩和	⑥仮設興行場等の仮設建築物の設置期間の特例 ⑦建築物の用途を変更して一時的に他の用途の建築物として使用する場合における制限の緩和	31 32、34

ERI アカデミー テキスト			別冊 テキスト	頁
科目 I	第 2 章	第 1 節 建築士事務所等による設計・工事監理業務の適正化	(2) 建築士法の概要	11、12
			⑤建築士事務所の図書保存に係る改正の概要(省令改正) ⑭業務報酬基準 (2) 建築士の業務における注意すべき事項	53 139、140 146～148
	第 3 章	第 1 節 住宅の品質の確保と向上	1-6 住宅の品質確保の促進等に関する法律について	82～88
		第 2 節 住宅取得者保護の実効性の強化		
		第 3 節 良質な住宅の建設と維持管理	1-7 長期優良住宅の普及の促進に関する法律について	89～92
		第 4 節 建築物のエネルギー消費性能の向上	(2)「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部を改正する法律」の概要 (令和元年法律 4 号) (3)「改正建築物省エネ法」の内容	56～58 59～63
		第 5 節 高齢者・障害者等のための建築物等の対応	(1) 建築物に関するバリアフリー法の概要 (3) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令の一部を改正する政令 (ホテル又は旅館における車椅子利用者客室の設置基準の見直し)	65～68 73
第 7 節 緑地の保全と緑化の推進	1-9 都市緑地法等の一部を改正する法律について	97～105		
科目 II	第 1 章	第 1 節 建築物のエネルギー消費の削減と省エネ基準	(1) 改正の背景 (2) 省エネ基準の概要	54、55 64
		第 6 節 建築設計とユニバーサルデザイン	(4) 高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準(平成 28 年度版)の改正の概要 (5) ホテル又は旅館における高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準の改正の概要	74～76 77～81
		第 7 節 耐震性能向上への技術と診断・補強方法	(3) 新耐震基準の木造住宅の耐震性能検証法について 屋根ふき材等の緊結	224、225 290、291
	第 2 章	第 1 節 設計・工事監理などに関する標準業務	(1) 賃貸共同住宅の不適合事案	194～216
	第 3 章	第 1 節 建築物等の維持管理と最近の事故	4-1 近年の事故事例	151～174
		第 2 節 建築士の懲戒処分	(2) 建築士等の処分について	188～193

以上